【2024】令和6年度 展覧会案内

歴史の扉5 庄内藩と飛島

3月14日㊍～4月23日㊋

山形県で唯一の有人島である飛島には、特色のある文化や歴史がみられます。江戸時代には、北前船の補助港や避難港として一つの拠点となり、漁村として豊富な海産物を得ていました。本展では、飛島の生活文化や島内で起きた訴訟の様子など、民俗資料や古文書から展観します。

大泉寺絵絵図十三「飛島」(県指定文化財)

国宝展示 大名 酒井家の名宝

4月27日㊏～6月17日㊊

徳川四天王・酒井忠次を祖とする酒井家は、江戸時代初期の元和8年(1622)に庄内へ入部、以来250年近く領国経営し続けました。本展では、大名酒井家に伝来した美術品や工芸品、歴史資料などを展示し、大名文化の一端を紹介します。
主な出品：太刀銘信房作・太刀銘真光(共に国宝)、短刀銘吉光 名物信濃藤四郎・色々威胴丸・禅院額字「潮音堂」(いずれも重要文化財)ほか

致道博物館 再始動プロジェクト 旧西田川郡役所 常設展示 リニューアルオープン!!

寄付やクラウドファンディングのご支援により、大時計修理や展示リニューアルを実現！
1階は磯貝吉紀ドールハウス作品群やアンティークのミニチュア洋食器コレクションを、2階には庄内考古資料群を常設展示します。

4月27日㊏より公開

山口吉彦コレクション 探検！アマゾンワールド

6月22日㊏～8月18日㊐

鶴岡市出身の文化人類学者である山口吉彦氏が南米アマゾンを探検して収集した民族・自然資料を紹介。
本展は、ワークショップ参加者の感性や好奇心が展示をかたちづくる「参加協同型」の展覧会です。
アマゾンの多様な生物と文化が織りなすハーモニー。さあ、神秘の森へ探検に出かけましょう！

ART de Shonai 白甕社創立100年記念 庄内の美術

8月23日㊎～9月16日㊊祝

厳しくも温かな自然風土から生まれ出で、脈々と繋がれてきた庄内人が有する美の感性を紹介する新シリーズ。白甕社は、大正13年(1924)に設立された庄内を代表する美術団体で、優れた美術家を輩出してきました。本展では地方美術の動向を展観し、行方を探ります。

地主惣助「パリと金鶏」(本間コレクション)

手のひらに、江戸 檜細工師 三浦宏の粋

過去最大級

9月21日㊏～11月11日㊊

浅草の風呂桶職人の父と船大工の祖父の技術を受け継ぎ、江戸の町並みや和船をミニチュアで再現した三浦宏(1926-2019)。徹底した調査、繊細な技、幼い頃からの経験や「記憶の中の匂い」が吹き込まれて完成した作品約70点を展示。江戸下町の叙情と庶民の暮らしぶりが感じられます。

Photo:Koji Ishizaki

ワッパ騒動 自由民権運動の先駆け

11月15日㊎～2025年1月20日㊊

松平忠恕より森藤右衛門宛書状(鶴岡市郷土資料館蔵)

明治政府は年貢米の金納を認めていましたが、旧藩士族が幹部にとどまる酒田県は、政府の方針を農民に伝えず、米納させていました。農民は余分に年貢を納めていたことを知り、その返還を求めて大運動を起こしました。
日本における自由民権運動の萌芽としても注目される「ワッパ騒動」について、古文書を中心に歴史的経緯を探ります。

第45回 鶴岡書道会会員展

2025年1月24日㊎～2月11日㊋祝

鶴岡市にあり、流派を超えて活動する書道団体(昭和8年創設)。

新収蔵品展 刀剣と美術

2025年2月15日㊏～4月14日㊊

近年の寄贈品から、鶴岡出身の愛刀家・三矢宮松(1880-1959)旧蔵や旧庄内藩士ゆかりの刀剣、書画・陶磁器等を紹介します。刀銘兼定、刀唐上無銘三原、狩野了承「松鶴図」、高麗焼青磁中皿など、約40点を出品。

中林竹洞「竹林図」

第31回 鶴岡雛物語

2025年2月22日㊏～4月3日㊍

庄内藩酒井家動物革紋・熊本藩細川家九曜紋入雛道具(県指定文化財)

鶴岡に春を告げる恒例の行事「鶴岡雛物語」展。
当館では、旧庄内藩主酒井家や市内旧家に伝わった雛人形や雛道具などのほか、全国でも珍しい生菓子「鶴岡伝統のお雛菓子」を一堂に展示します。
大名家ならではの典雅な雛祭りをお楽しみください。

グループ作品展

第17回「砂の会」作品展 11月1日㊎～5日㊋
第28回 春蘭展 2025年3月14日㊎～17日㊊

致道博物館【2024】令和６年度 展覧会カレンダー

きりとり

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 月	1 水	1 土	1 月	1 木	1 日
2 火	2 木	2 日	2 火	2 金	2 月
3 水	3 金	3 月	3 水	3 土	3 火
4 木	4 土	4 火	4 木	4 日	4 水
5 金	5 日	5 水	5 金	5 月	5 木
6 土	6 月	6 木	6 土	6 火	6 金
7 日	7 火	7 金	7 日	7 水	7 土
8 月	8 水	8 土	8 月	8 木	8 日
9 火	9 木	9 日	9 火	9 金	9 月
10 水	10 金	10 月	10 水	10 土	10 火
11 木	11 土	11 火	11 木	11 日	11 水
12 金	12 日	12 水	12 金	12 月	12 木
13 土	13 月	13 木	13 土	13 火	13 金
14 日	14 火	14 金	14 日	14 水	14 土
15 月	15 水	15 土	15 月	15 木	15 日
16 火	16 木	16 日	16 火	16 金	16 月
17 水	17 金	17 月	17 水	17 土	17 火
18 木	18 土	18 火	18 木	18 日	18 水
19 金	19 日	19 水	19 金	19 月	19 木
20 土	20 月	20 木	20 土	20 火	20 金
21 日	21 火	21 金	21 日	21 水	21 土
22 月	22 水	22 土	22 月	22 木	22 日
23 火	23 木	23 日	23 火	23 金	23 月
24 水	24 金	24 月	24 水	24 土	24 火
25 木	25 土	25 火	25 木	25 日	25 水
26 金	26 日	26 水	26 金	26 月	26 木
27 土	27 月	27 木	27 土	27 火	27 金
28 日	28 火	28 金	28 日	28 水	28 土
29 月	29 水	29 土	29 月	29 木	29 日
30 火	30 木	30 日	30 火	30 金	30 月
	31 金		31 水	31 土	

歴史の扉5 庄内藩と飛島 常設展のみ
国宝展示 大名 酒井家の名宝
山口吉彦コレクション 探検！アマゾンワールド 常設展のみ
ART de Shonai 白甕社創立100年記念 庄内の美術
手のひらに、江戸 檜細工師 三浦宏の粋 常設展のみ
新収蔵品展 刀剣と美術
第45回 鶴岡書道会会員展
第31回 鶴岡雛物語
ワッパ騒動 自由民権運動の先駆け 常設展のみ

公益財団法人 致道博物館 交通案内

- JR鶴岡駅より バス10分 「致道博物館前」下車徒歩2分
- 山形自動車道 鶴岡I.C.より 車で5分
- 庄内空港より 車で20分

2024年度 致道博物館 展覧会のご案内

致道博物館
CHIDO MUSEUM

命名の「致道(ちどう)」は、庄内藩校致道館に由縁し、出典は「論語」の「君子学んで以って其の道を致す」です。

今でも江戸時代・城下町の趣が漂う町、山形県鶴岡市。
致道博物館は、徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家が、郷土文化の向上のために土地建物や伝来品を寄付し、昭和25年に創設されました。
移築した3棟の重要文化財建造物、国指定名勝庭園を保存公開しているほか、考古・歴史・民俗・美術工芸などの多分野にわたる資料や酒井家伝来の文化財を豊富に展示し、庄内の歴史と文化を広く紹介しております。

ご観覧のご案内

開館時間／3月～11月 9:00～17:00(受付終了16:30)
12月～ 2月 9:00～16:30(受付終了16:00)

休館日／12月以降の水曜日、年末年始(12/28～1/4)
※2025年より、年間を通して水曜休館に変更します。ご留意ください。

入館料金 (2024年4月1日改定／消費税込)

	個 人	団 体(20名以上)
一 般	1,000円	900円
高大生	400円	300円
小中生	300円	200円

※この料金で企画展のほか常設展示6棟および庭園を観覧いただけます。

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
(鶴岡公園西隣)
電話：0235-22-1199 FAX：0235-22-3531
https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp

令和６年2月15日発行 (初版)
※掲載情報は、変更となる場合もございます。最新情報は、ホームページ・X等でお知らせしています。